

6月例会報告 「 森吉山 」 北秋田市 1,454m

担当：白戸三和子

期日： 2023年6月25日（日） 5:30～

参加： 櫻田、福田、及川、会津、白戸、山下、佐藤、葛西、沖崎（体験）、齊藤（レポート）

早朝 5 時 3 0 分、朝靄の中青森ICを出発し、7時30分「森吉山阿仁スキー場」へ到着する。

ここから 8 時 4 5 分始発のゴンドラに乗るため最前列で待っていると、ゴンドラに乗る頃には登山客の長蛇の列ができる。さすが「花の百名山」だ。

ゴンドラに乗り、眼下のアオモリトドマツに巻きつくアジサイの白い花を眺めながら 2 0 分ほどで山頂駅舎へ到着。ここから登山道を歩き、途中たくさんの花々に出会う。

シラネアオイ、ニッコウキスゲ、ハクサンチドリ、イワカガミ、イワイチョウ、ゴゼンタチバナ、挙げればきりがなほどの花々。極めつけは平らな斜面の一面に咲いたヒナザクラ、チングルマ、イワカガミの花畑。ピンクと白が混じって圧巻だ。感動し心癒され、しばしその場に立ち止まる。

10時45分に山頂到着。あいにく山頂は周囲が雲に覆われて、晴天ならば見えたであろう岩手山や白神山地は望めず残念。

全員で記念写真を撮ってもらい、少し早い昼食をとり11時25分下山開始。途中分岐から10分ほどのところにある森吉神社に参り、傍にある冠岩をバックに記念撮影をする。

落ちそうで危なげなこの冠岩は、森吉神社の御神体で、鬼が積んだという伝説があるという。



落ちそうな冠岩は森吉神社の御神体



心癒される花々は圧巻



森吉神社傍にある冠岩をバックに

ゴンドラで山麓まで下りてくると、出発前は駅舎のケージで眠っていた看板犬の「北斗」が出入口の外で出迎えてくれた。登山客に背中を撫でてもらい気持ちよさそうにも見える半面、私には「それより何か美味しいものをくれえ〜」と言っているようにも見えた。

近くの温泉につかり、予定時刻より早い17時に青森IC到着。

遅からず早からずの福田リーダーの歩きに支えられ無事に帰ることができた。

霧雨に始まり晴れて日差しがまぶしかったり、雨が降ったりとバラエティーに富んだ天気ではあったが、それなりに十分楽しめた。

往復の運転をしてくれた及川さんありがとうございました。

レポート b y 佐藤うめ子



山頂は雲に覆われて、岩手山や白神山地は望めず残念!

7月例会案内 「秋田駒ヶ岳」 秋田県仙北市 1,637m 担当：及川 功

1. 日時：7月22日(土) 5:30~
2. 集合：青森インター駐車場 5:30
3. 移動：10人乗りレンタカー
4. 会費：5,000円(8合目迄のバス代含む)
5. 締切：7月15日(土) 17時
6. 申込：白戸三和子さん Tel 718-1574
7. その他：温泉用具持参

秋田・岩手県境の秋田駒ヶ岳(標高1,637m)は、最高点の男女岳(女目岳)をはじめ、男岳や女岳、横岳、小岳などを総称した火山地形の山。高山植物特別保護地区に指定される豊富な高山植物の宝庫で、ニッコウキスゲやタカネスミレ、コマクサなどが梅雨から夏の終わりまで開花する。火山地帯だけに温泉も多く、宿泊地に事欠かない。数ある登山道のうち、最もポピュラーなのは北面の八合目登山口から。1時間半ほどの登りだが、周囲を見渡す大展望や池の周囲に展開するお花畑など、この山の魅力が凝縮したコースだ。時間があれば、北東へ伸びる稜線をたどって烏帽子岳(乳頭山)まで行けば、より充実した山行になるはずだ。